

福祉施設の希望する寄附の状況

—2020（令和2）年度寄附希望アンケート結果—

東京善意銀行

2020年10月30日

1

調査概要

- 目的
東京善意銀行への寄附（現金・物品・招待）の配分実施にあたり。寄附者の意向ならびに福祉施設の希望をつなげるための基礎資料として実施する。
- 調査対象
東京都内の社会福祉施設等（2,440 か所）
- 調査方法
調査票をメールと郵送で送付。
- 回答率（回答数）
77.7%（1,895 か所）
- 調査期間
2020年7月1日～8月21日
- 実施主体
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京善意銀行

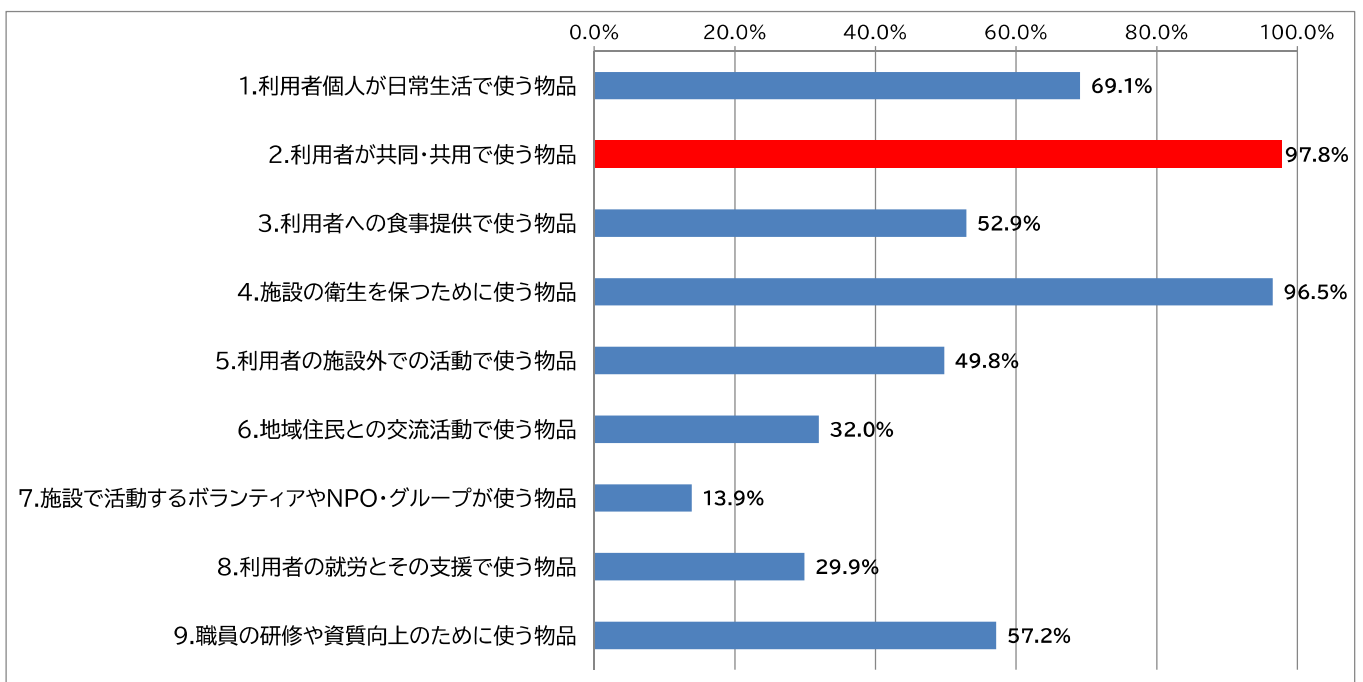
2

結果

1 寄附を希望する物品の種類目的（全体及び種別ごと）	4
2 物品確保の予算について	9
3 寄附を希望する物品の詳細（全体及び種別ごと）	10
4 寄附を希望する自動車	15
5 寄附を希望する招待事業（全体及び種別ごと）	16
6 善意銀行への配分申込の頻度	21
7 コロナ禍における衛生用品の確保状況	23
8 不足衛生用品の確保策	24
9 コロナ禍の影響（寄附およびボランティア募集）	25
10 コロナ禍で想定される寄附受入れへの影響	26

3

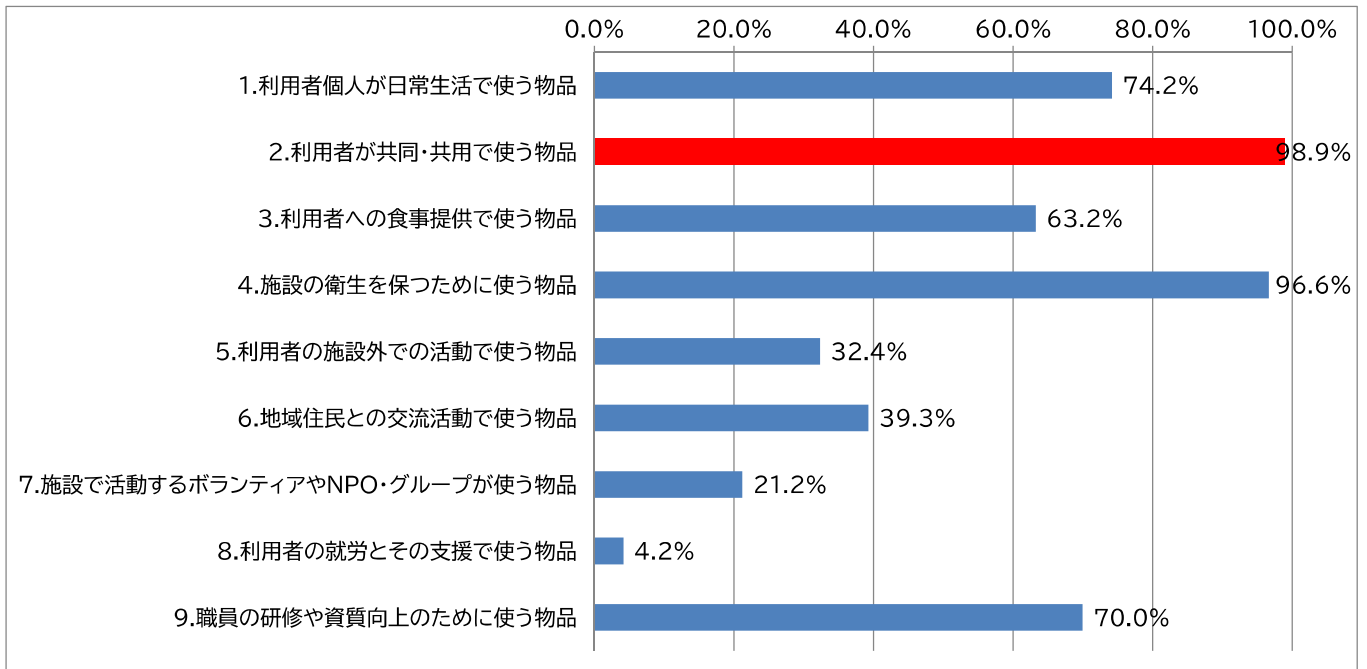
寄附を希望する物品の種類（全体）



「利用者が共同・共用で使う物品」(97.8%)、「施設の衛生を保つために使う物品」(96.5%)に回答が集中している。

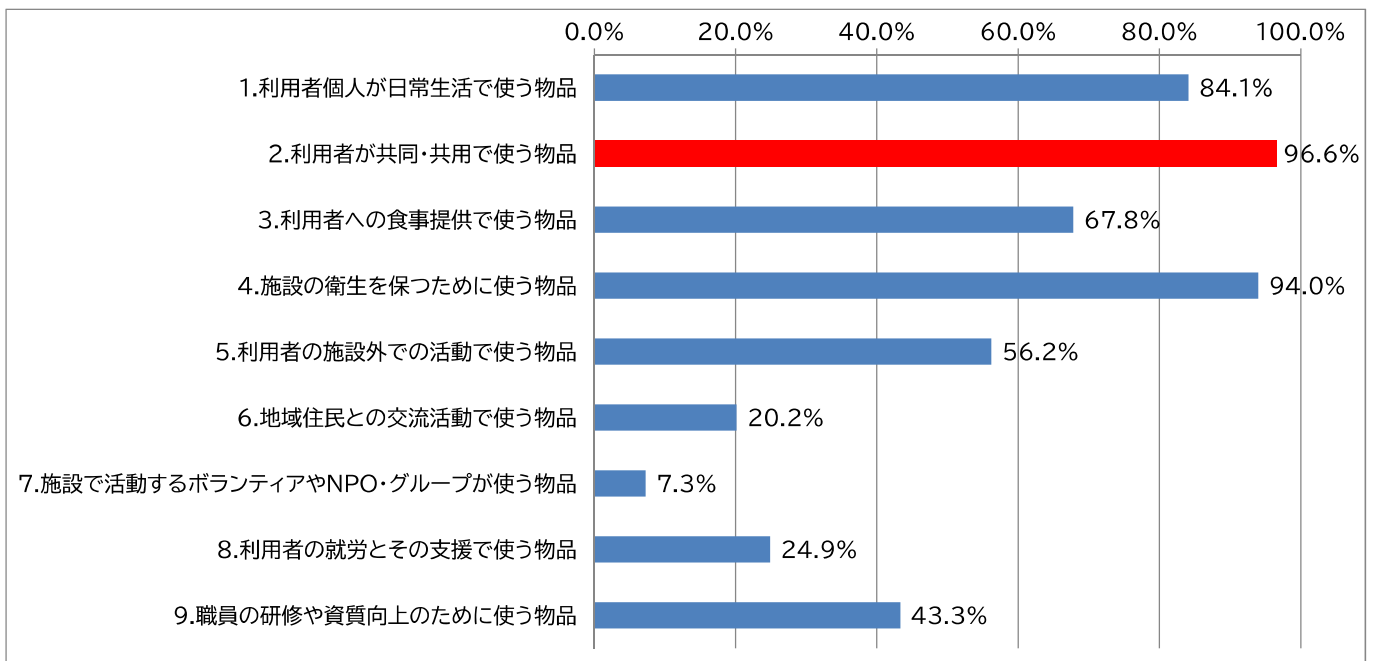
4

寄附を希望する物品の種類（高齢者関連施設）



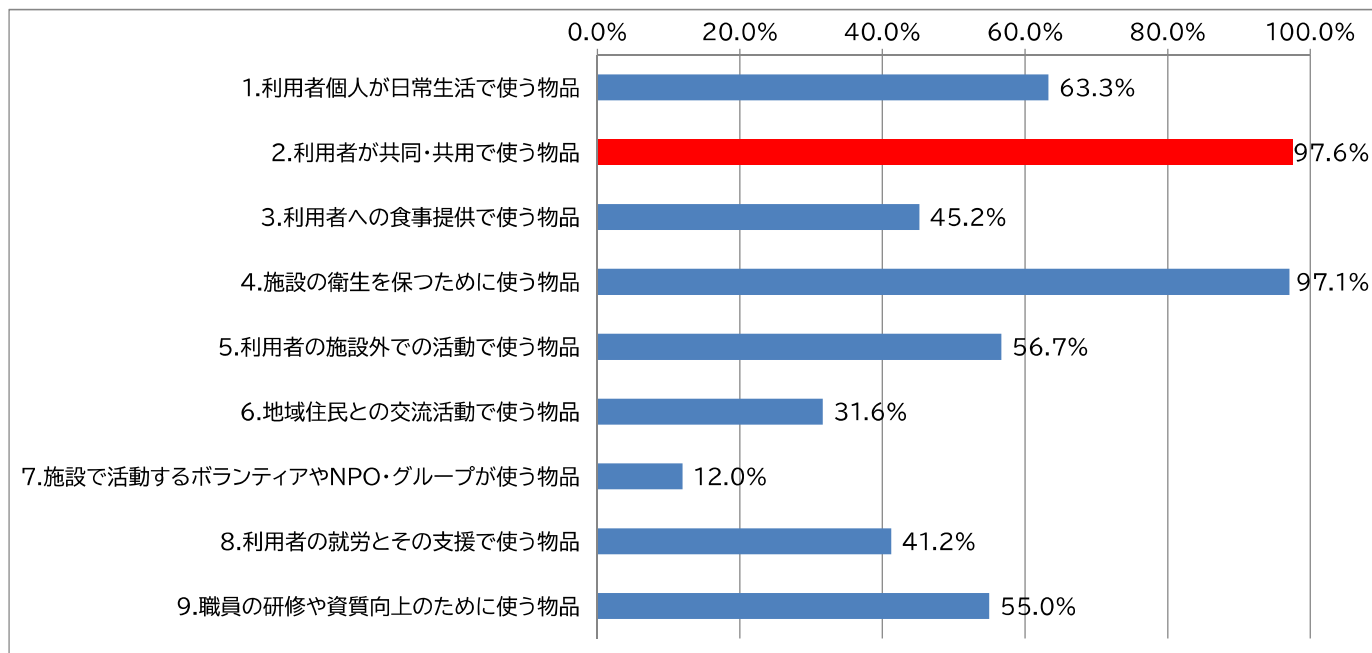
5

寄附を希望する物品の種類（児童関連施設）



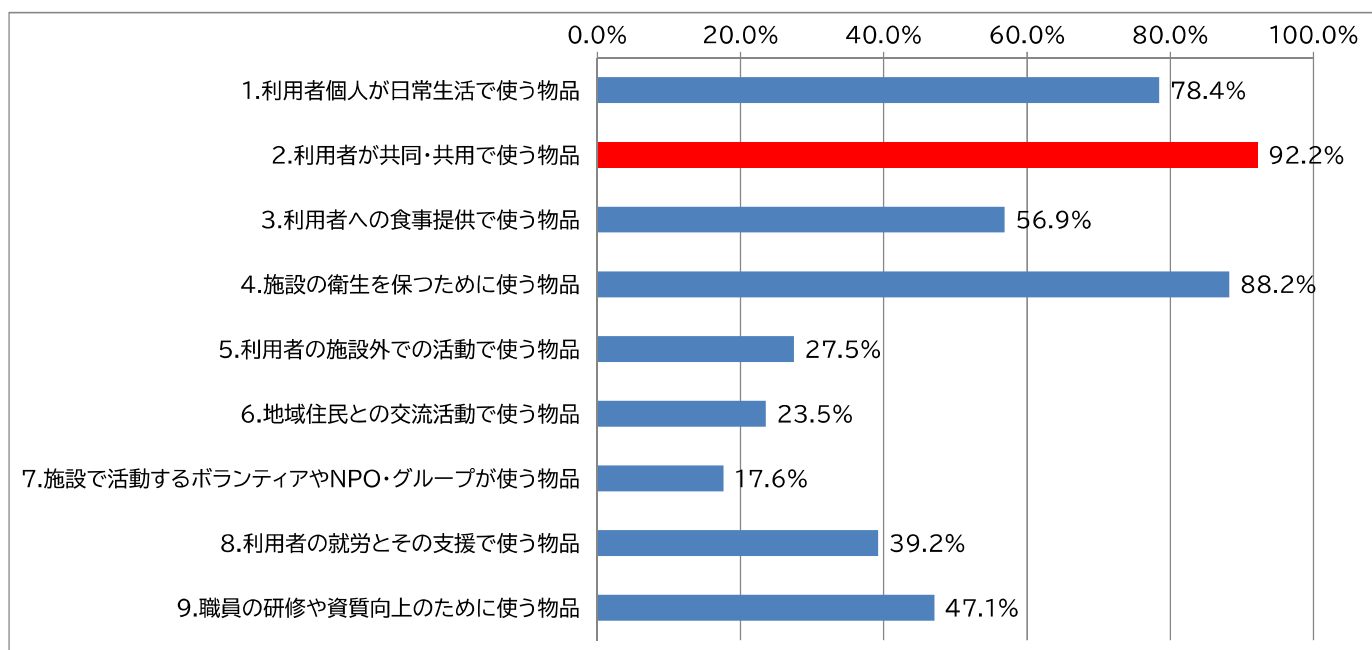
6

寄附を希望する物品の種類（障害関連施設）



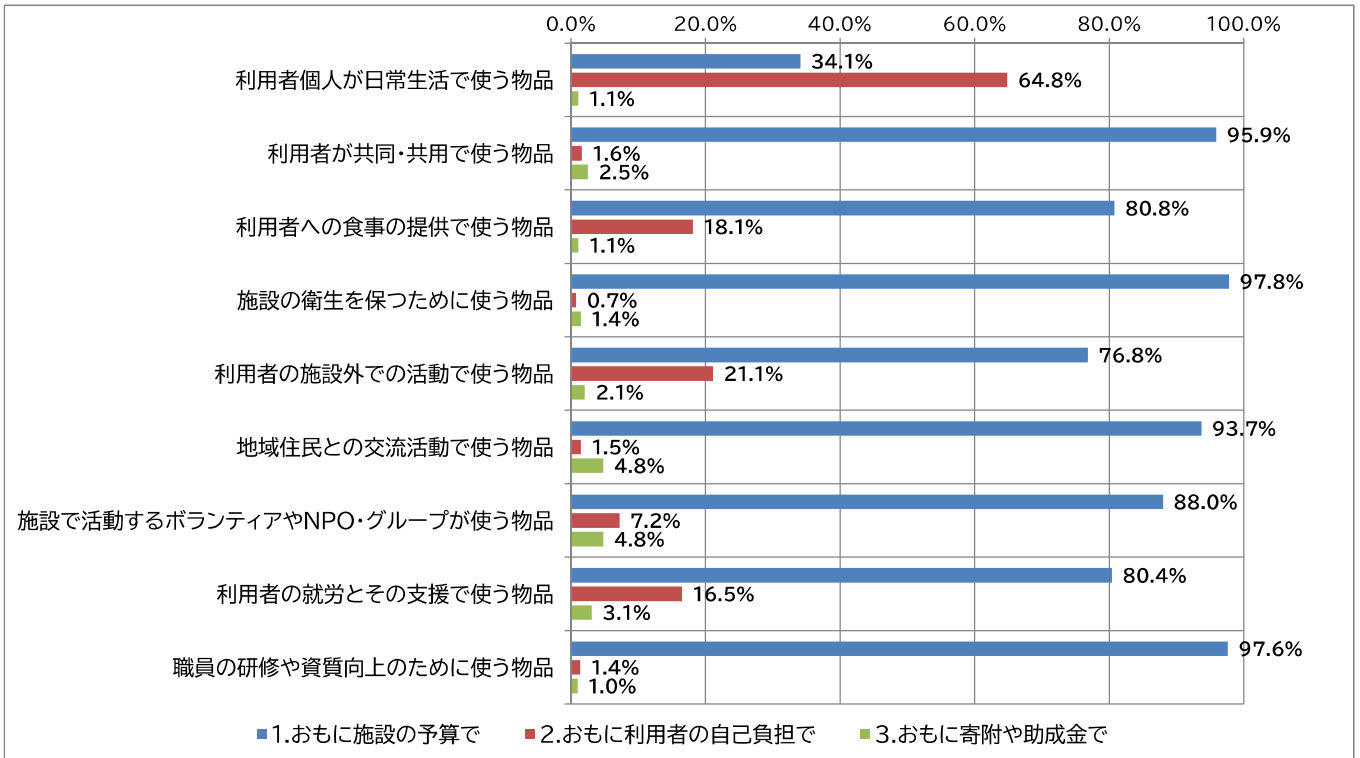
7

寄附を希望する物品の種類（その他施設）



8

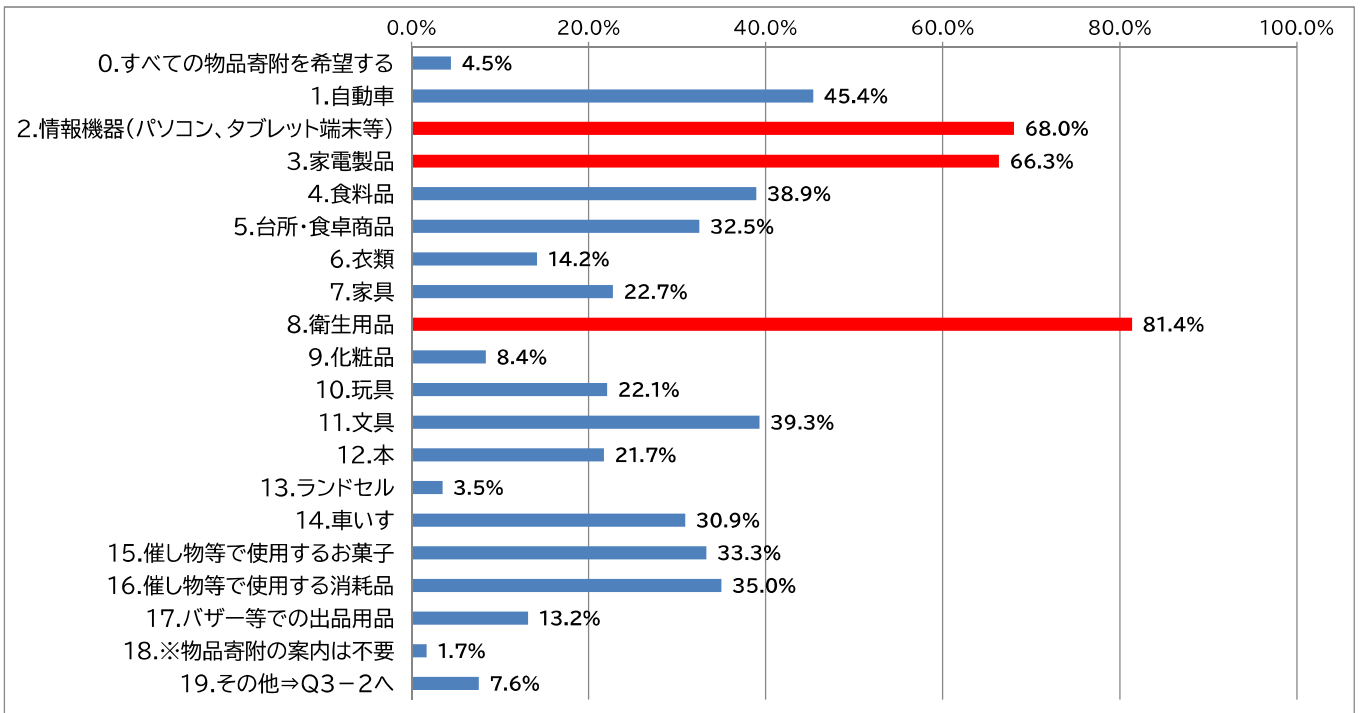
物品確保の予算について



ほとんどの物品が、施設の予算で購入している場合が多い。ただし「利用者個人が日常生活で使う物品」は、利用者の自己負担で購入の場合が目立つ。(64.8%)

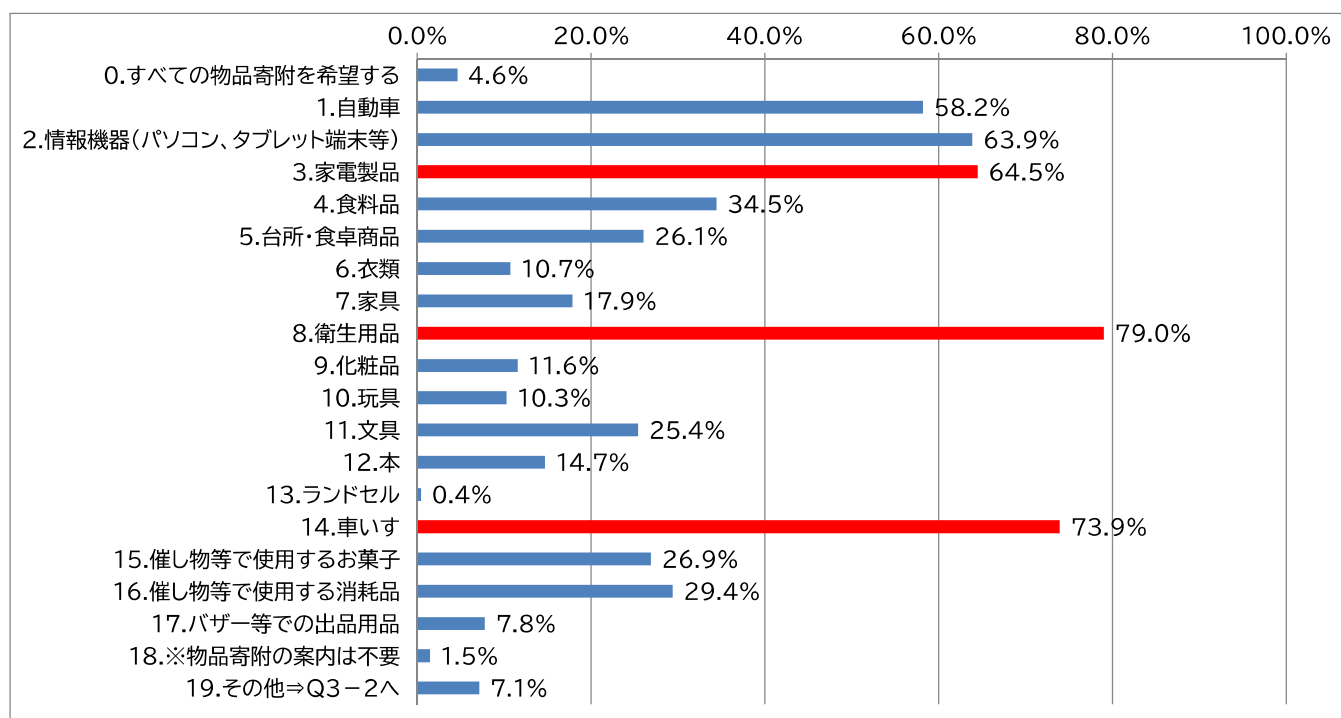
9

寄附を希望する物品の詳細 (全体)



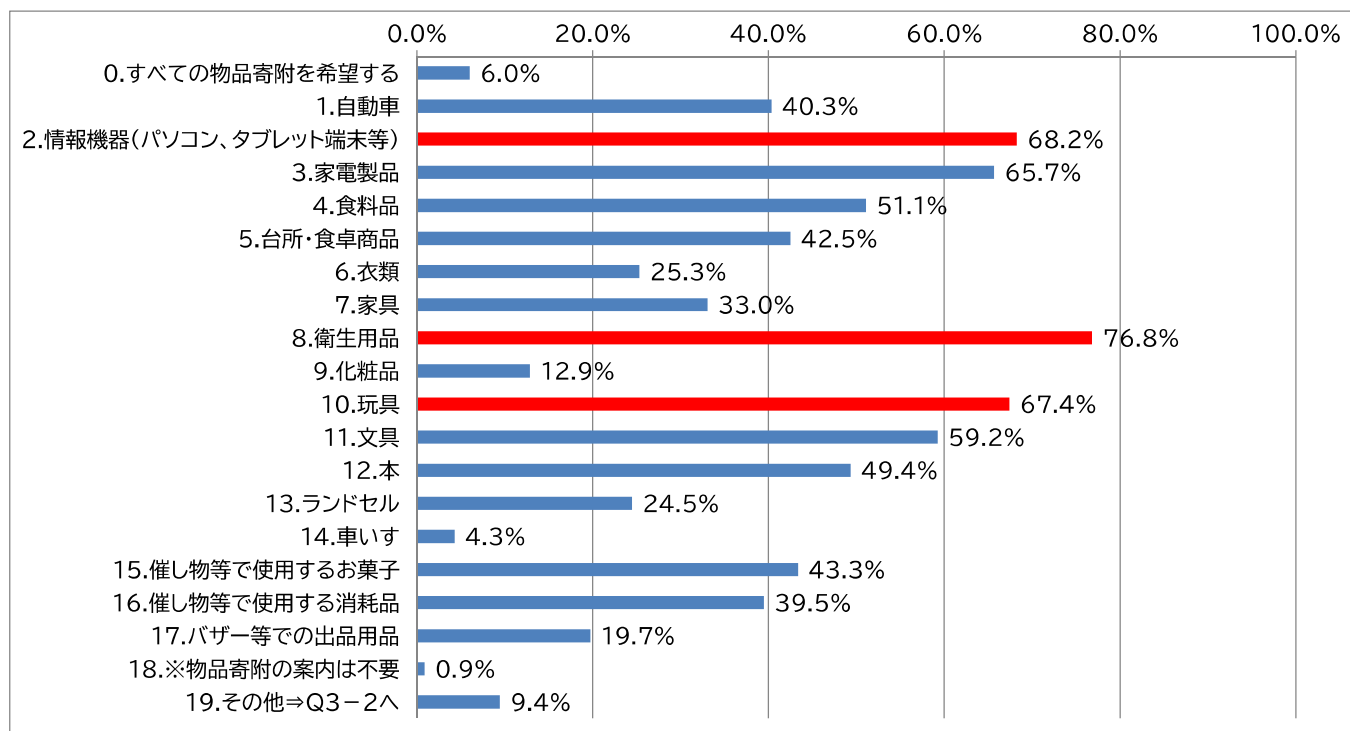
「衛生用品」(81.4%)、「情報機器(パソコン・タブレット端末等)」(68.0%)、「家電用品」(66.3%)の順に回答が多い。

寄附を希望する物品の詳細（高齢者関連施設）



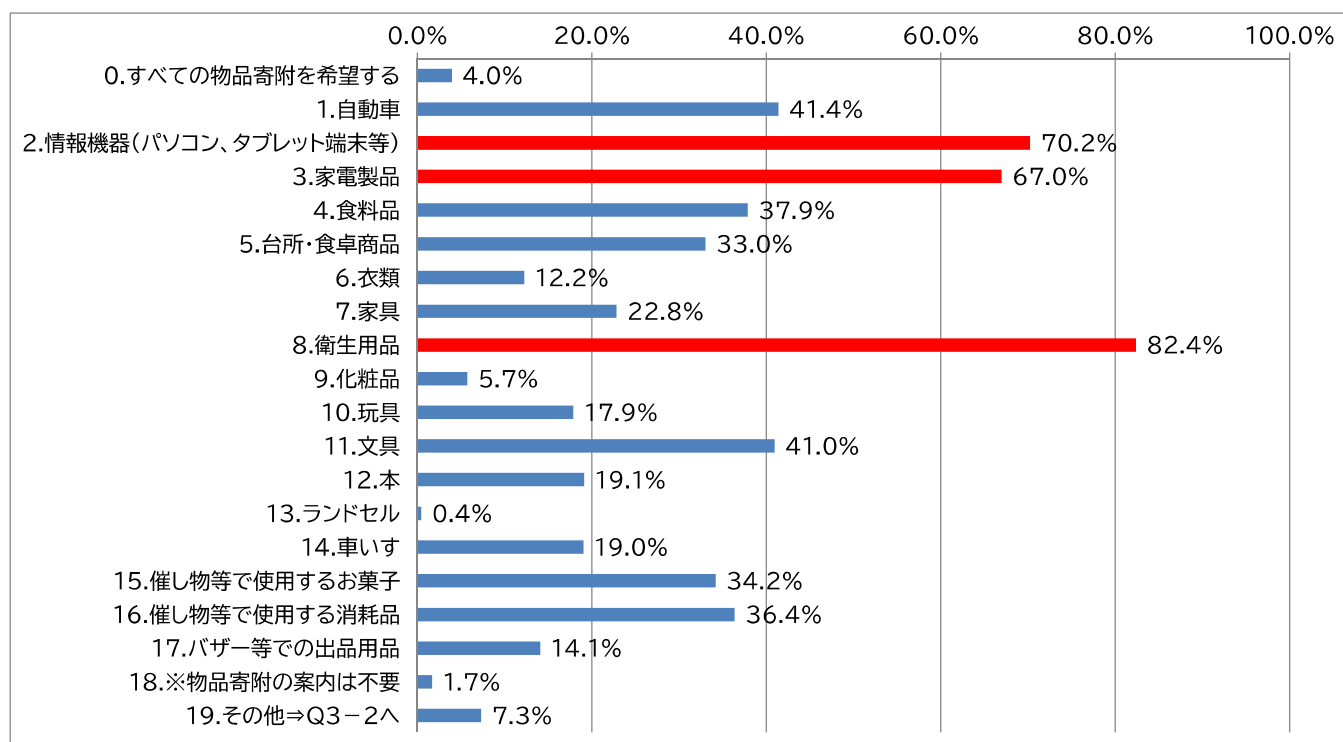
11

寄附を希望する物品の詳細（児童関連施設）



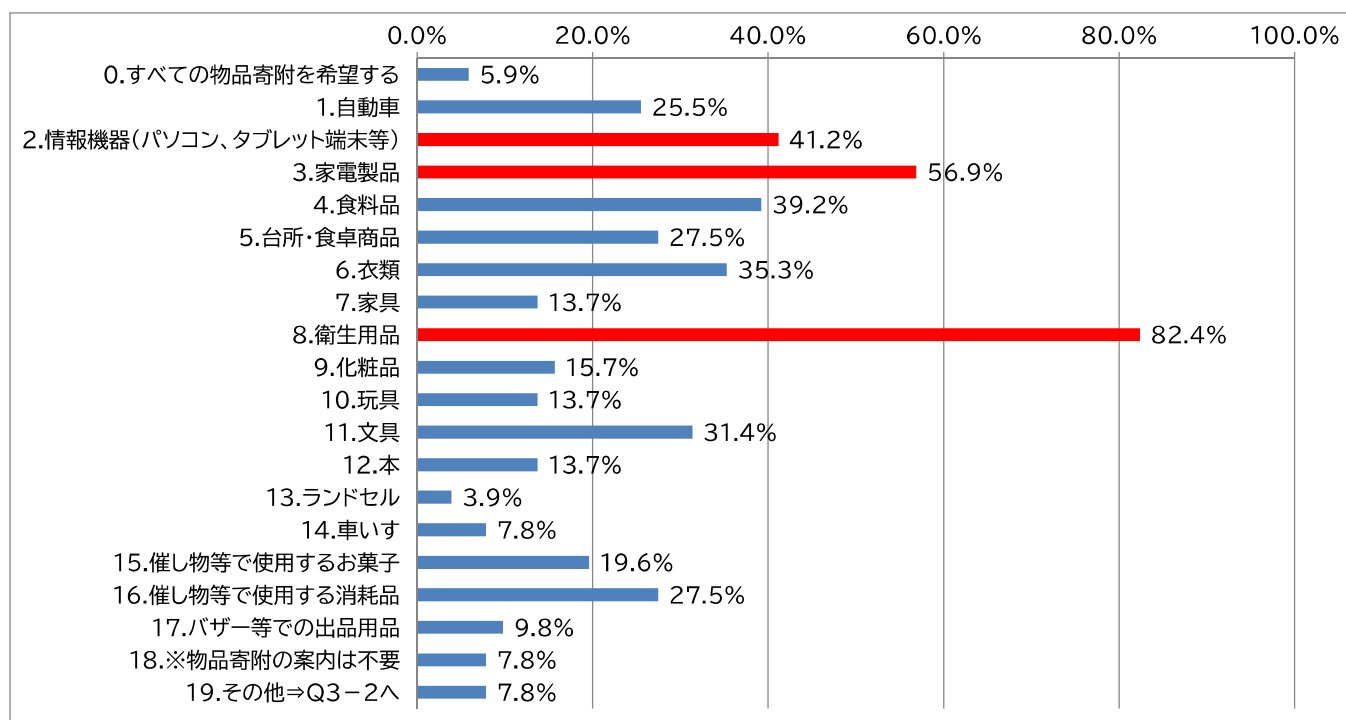
12

寄附を希望する物品の詳細（障害関連施設）



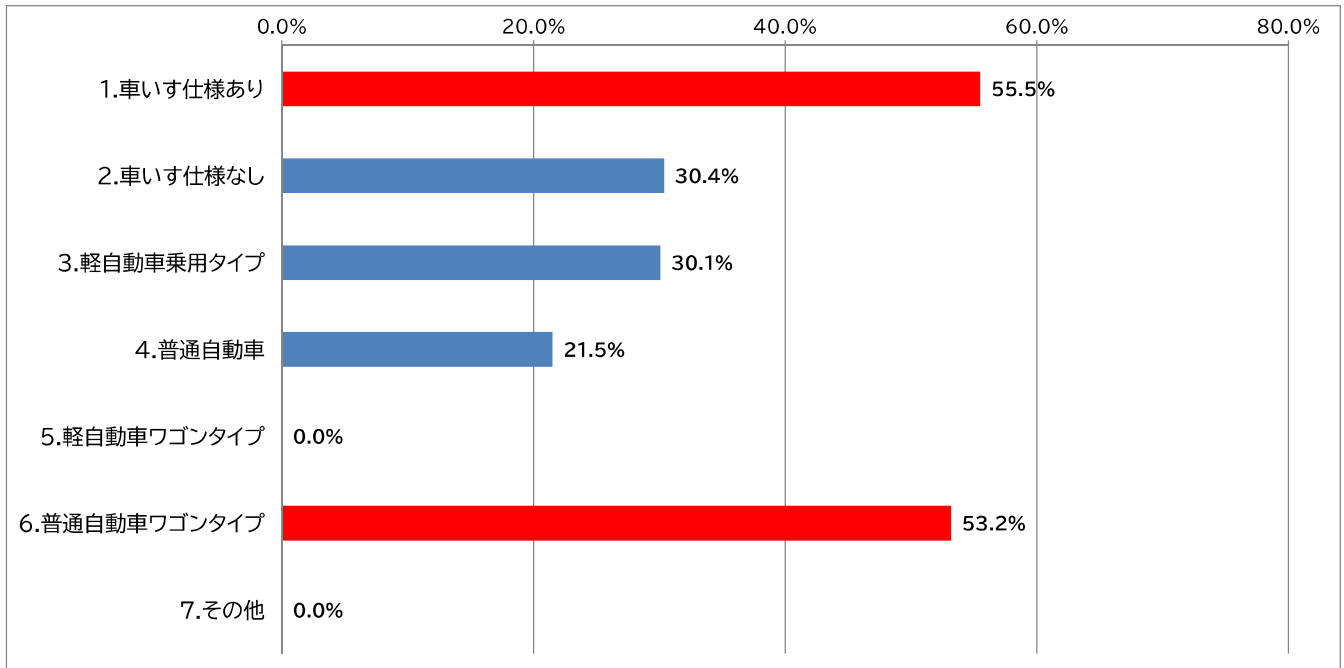
13

寄附を希望する物品の詳細（その他施設）



14

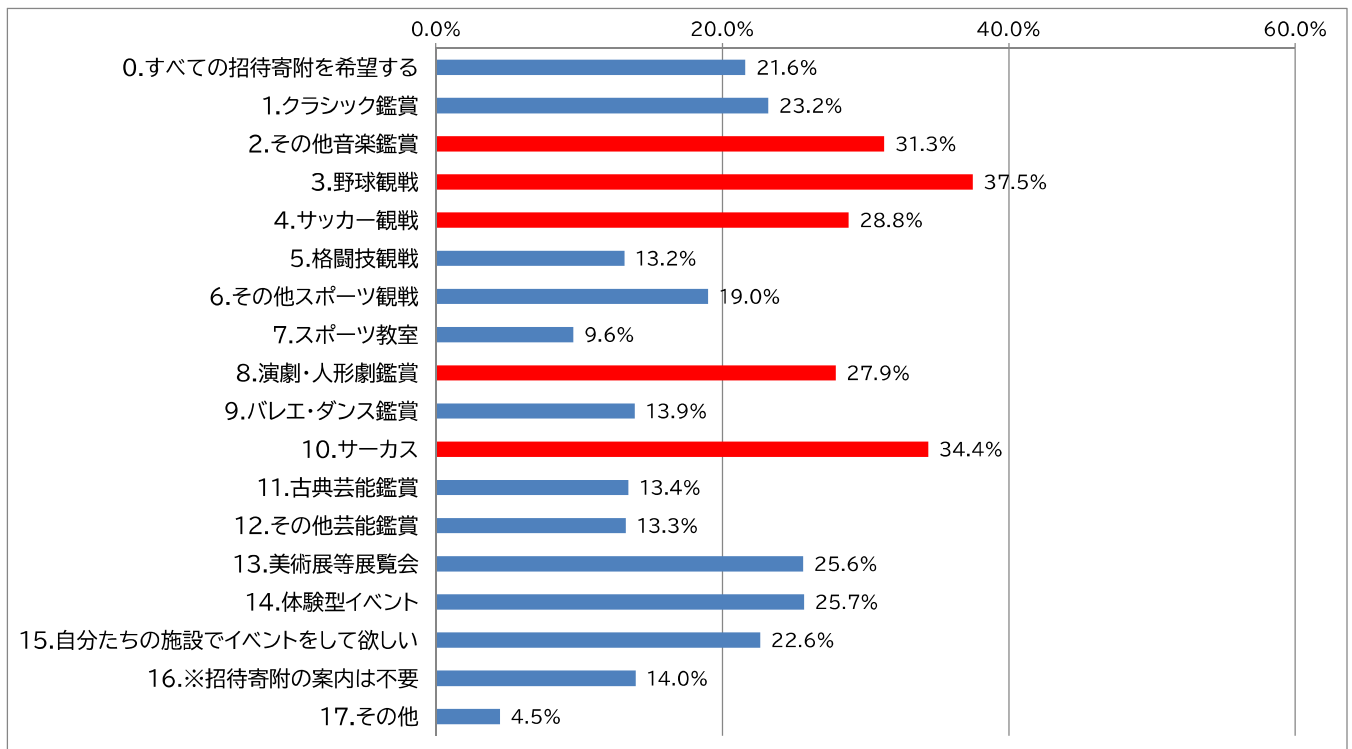
寄附を希望する自動車



自動車については、「車いす仕様あり」(55.5%)、「普通自動車ワゴンタイプ」(53.2%)を希望する回答が多い。

15

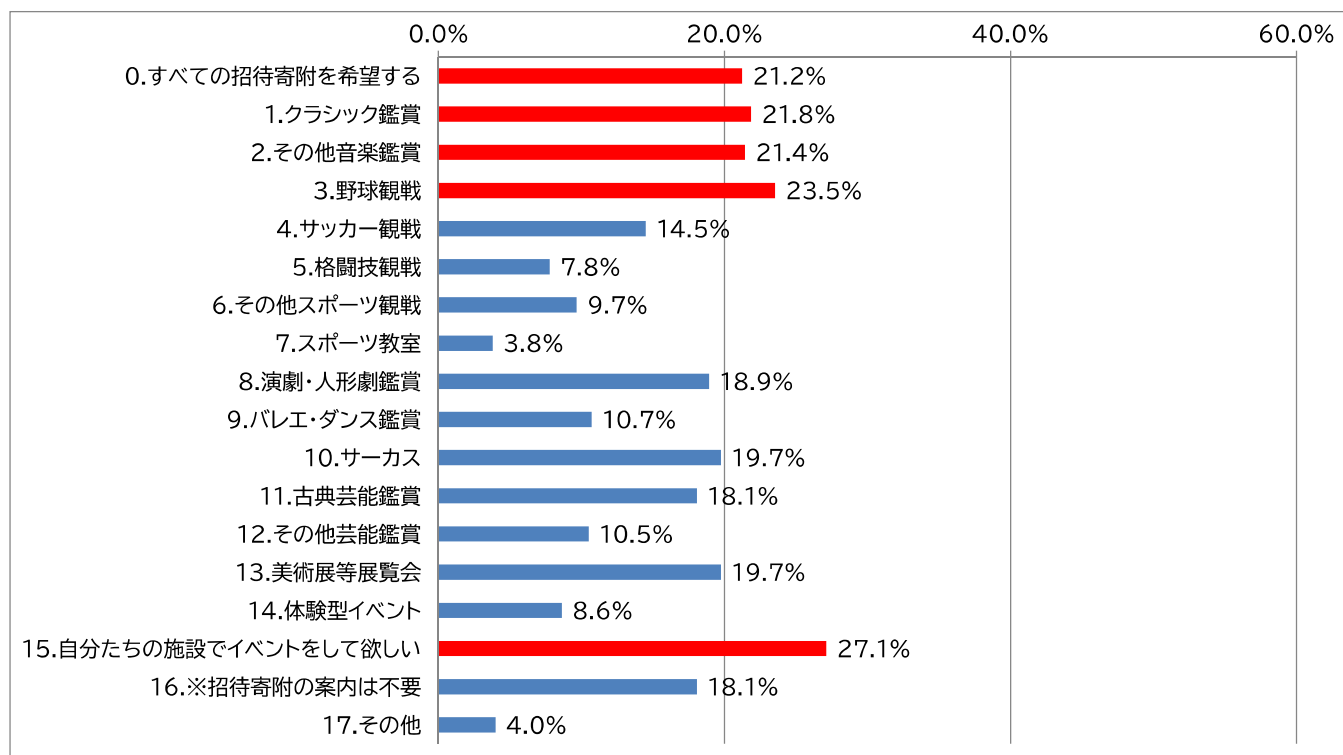
寄附を希望する招待事業（全体）



「野球観戦」(37.5%)、「サーカス」(34.4%)、「その他音楽鑑賞」(31.3%)、「サッカー観戦」(28.8%)、「演劇・人形劇鑑賞」(27.9%)の順に回答が多い。

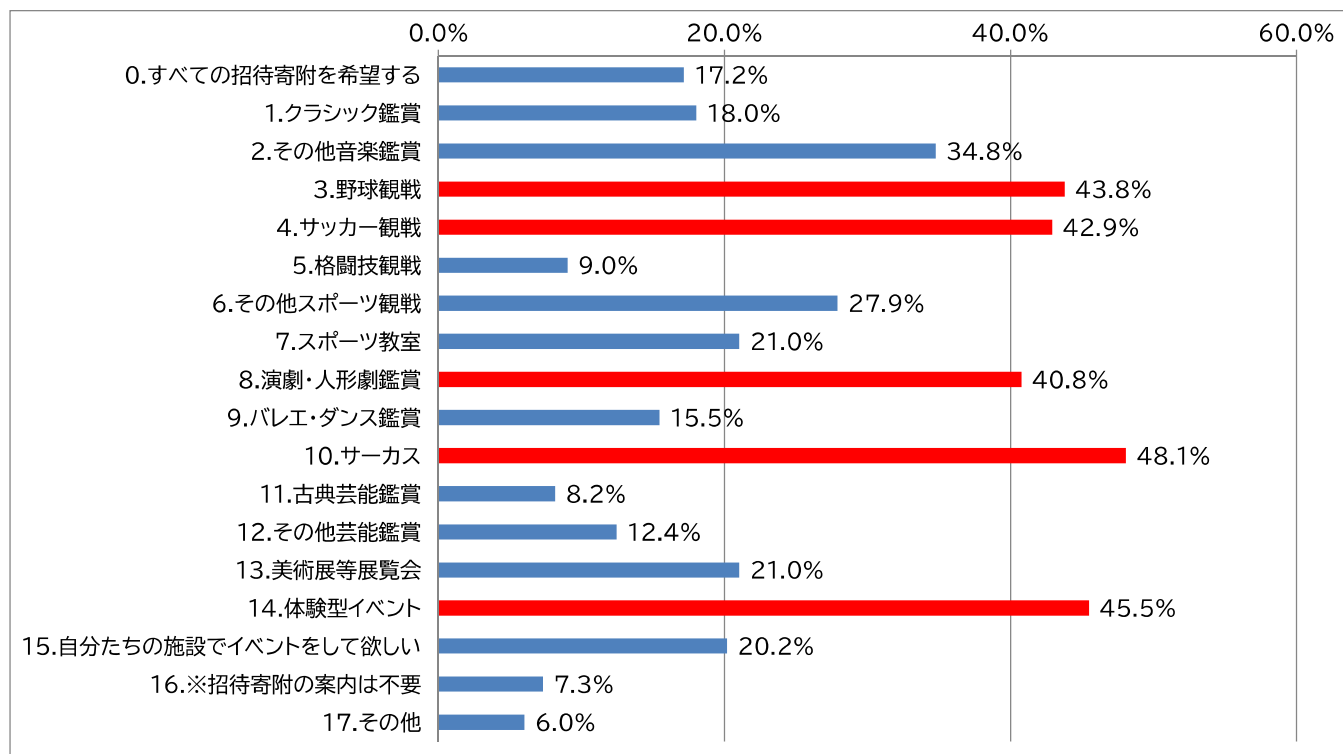
16

寄附を希望する招待事業（高齢者関連施設）



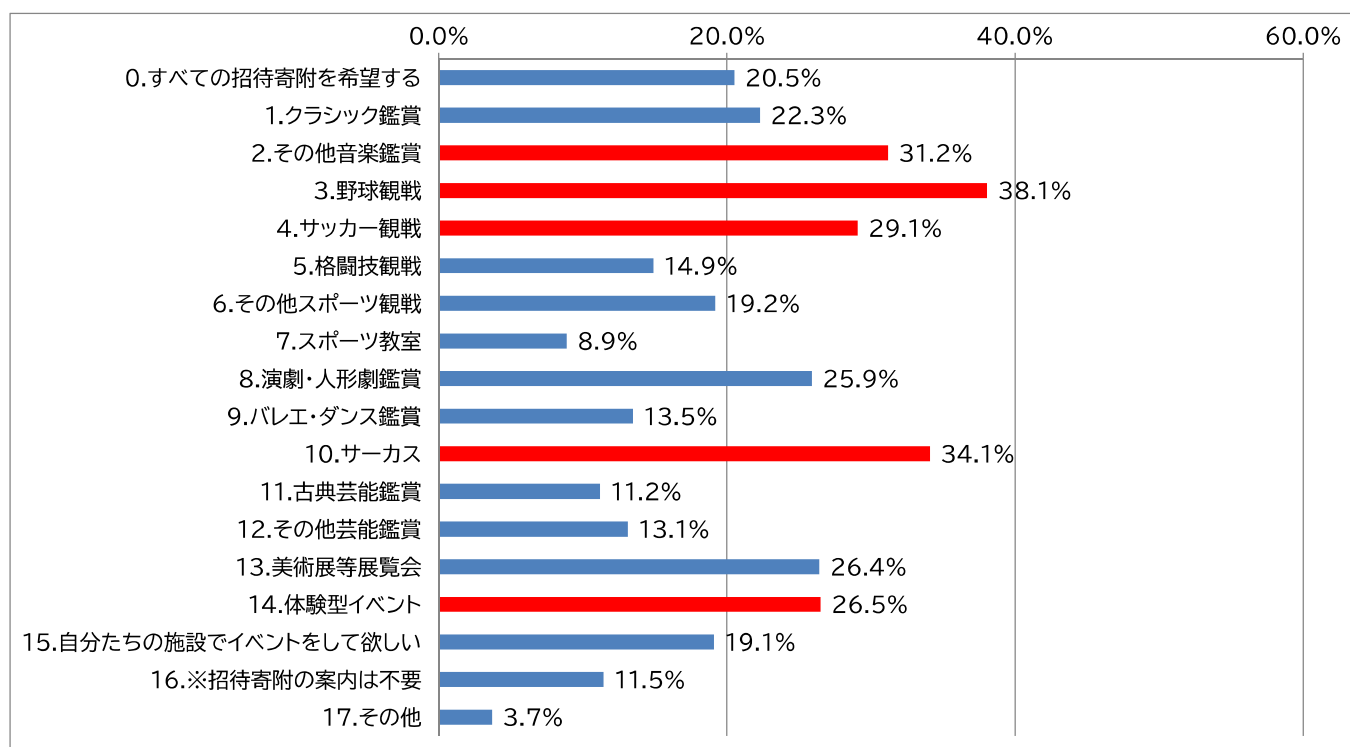
17

寄附を希望する招待事業（児童関連施設）



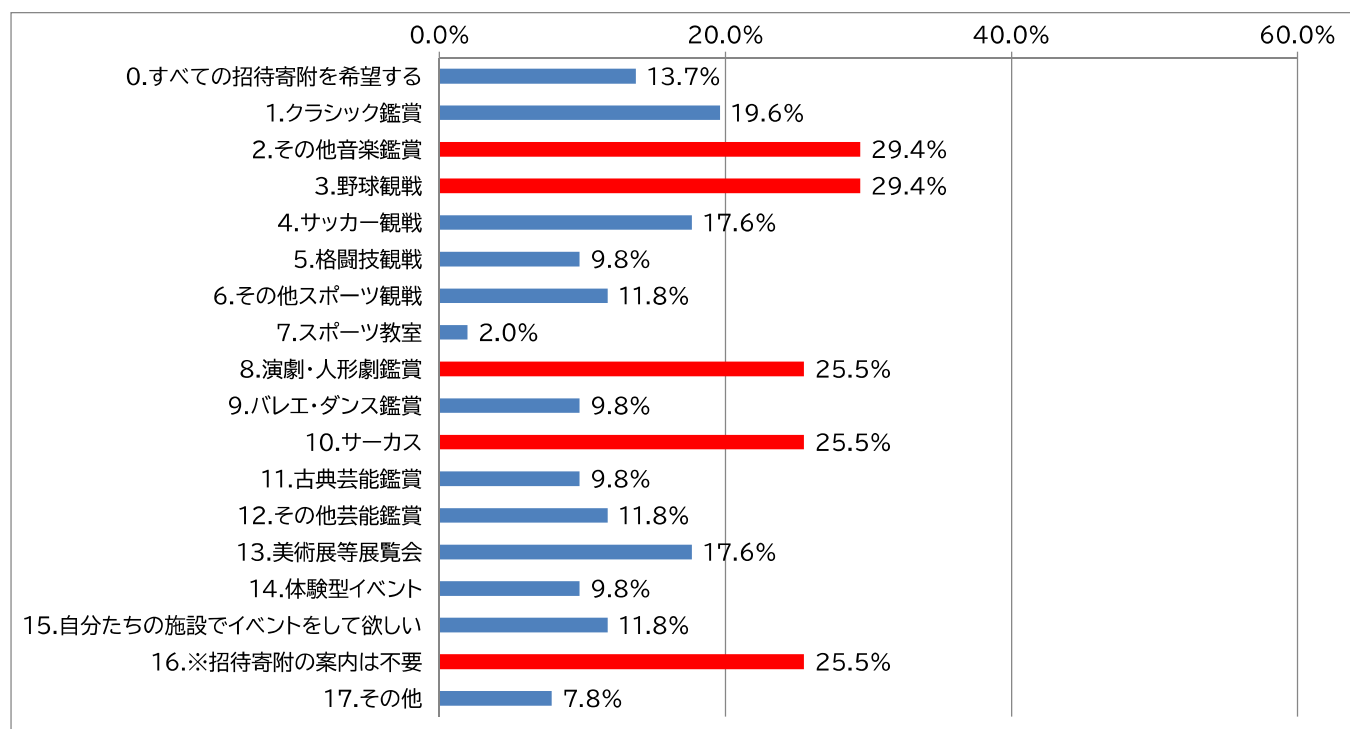
18

寄附を希望する招待事業（障害関連施設）



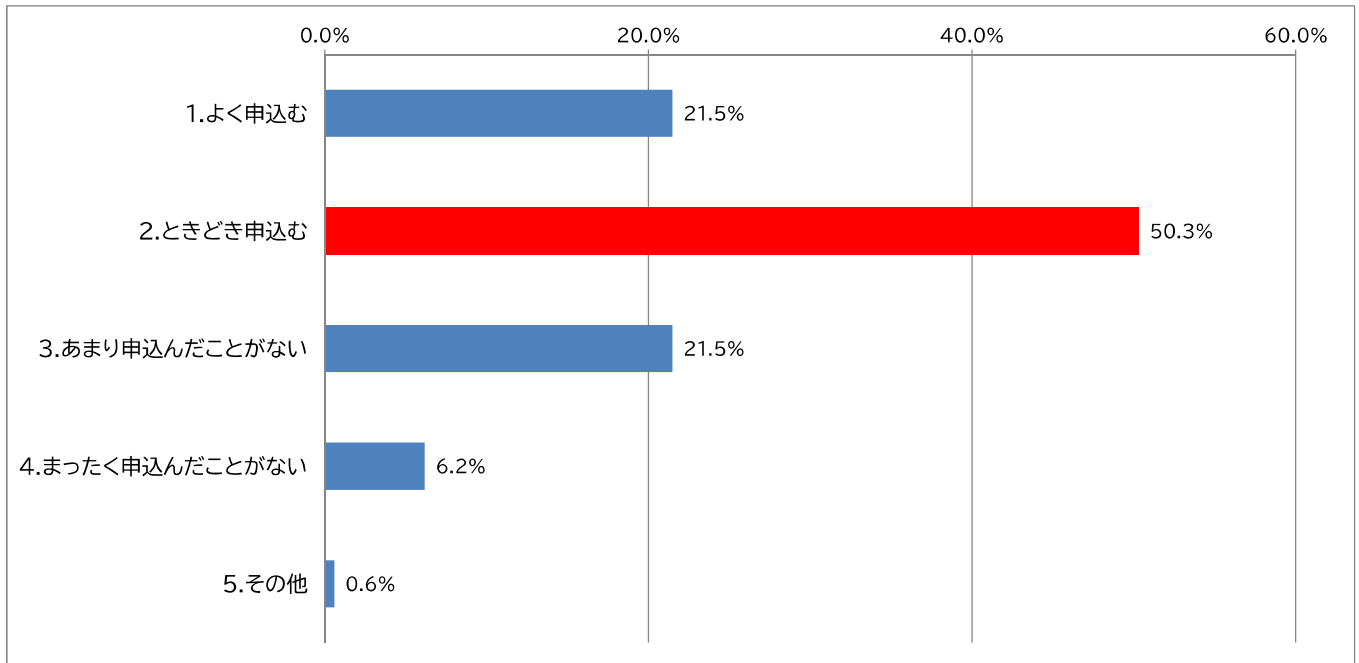
19

寄附を希望する招待事業（その他施設）



20

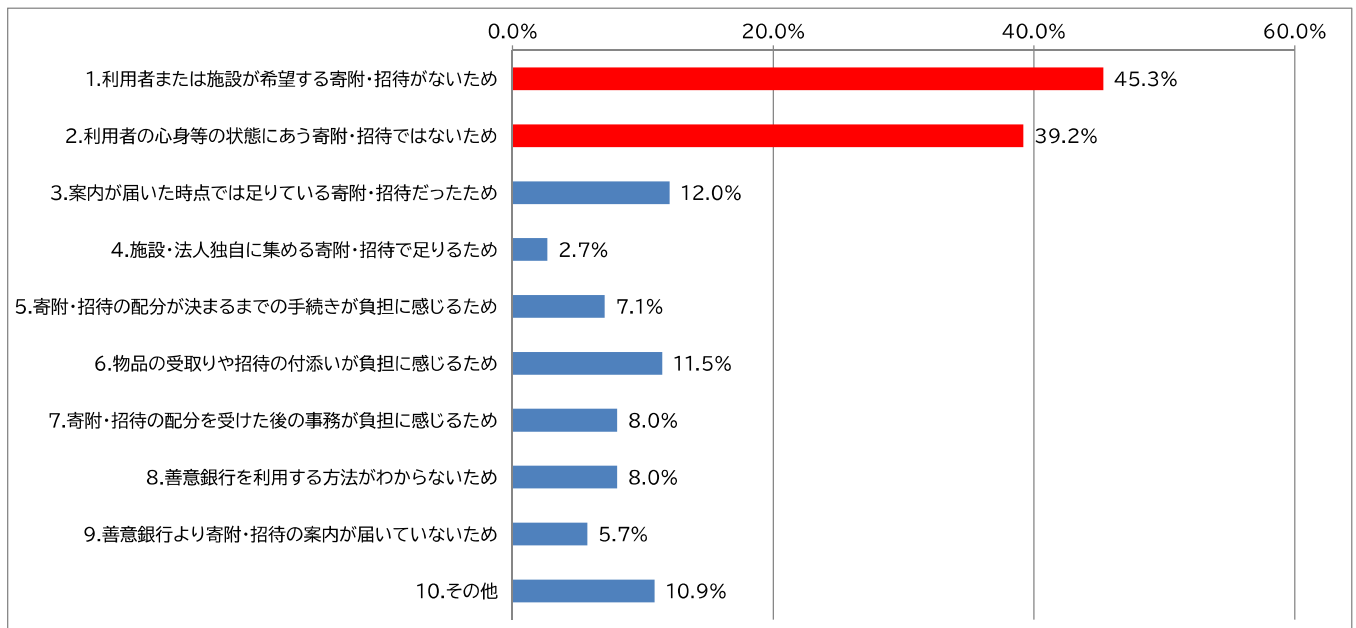
善意銀行への配分申込の頻度



善意銀行への配分についてたずねたところ、「よく申込む」(21.5%)、「ときどき申込む」(50.3%)で回答全体の70%を占める結果になった。一方で「あまり申込んだことがない」(21.5%)、「まったく申込んだことがない」(6.2%)施設もみられた。

21

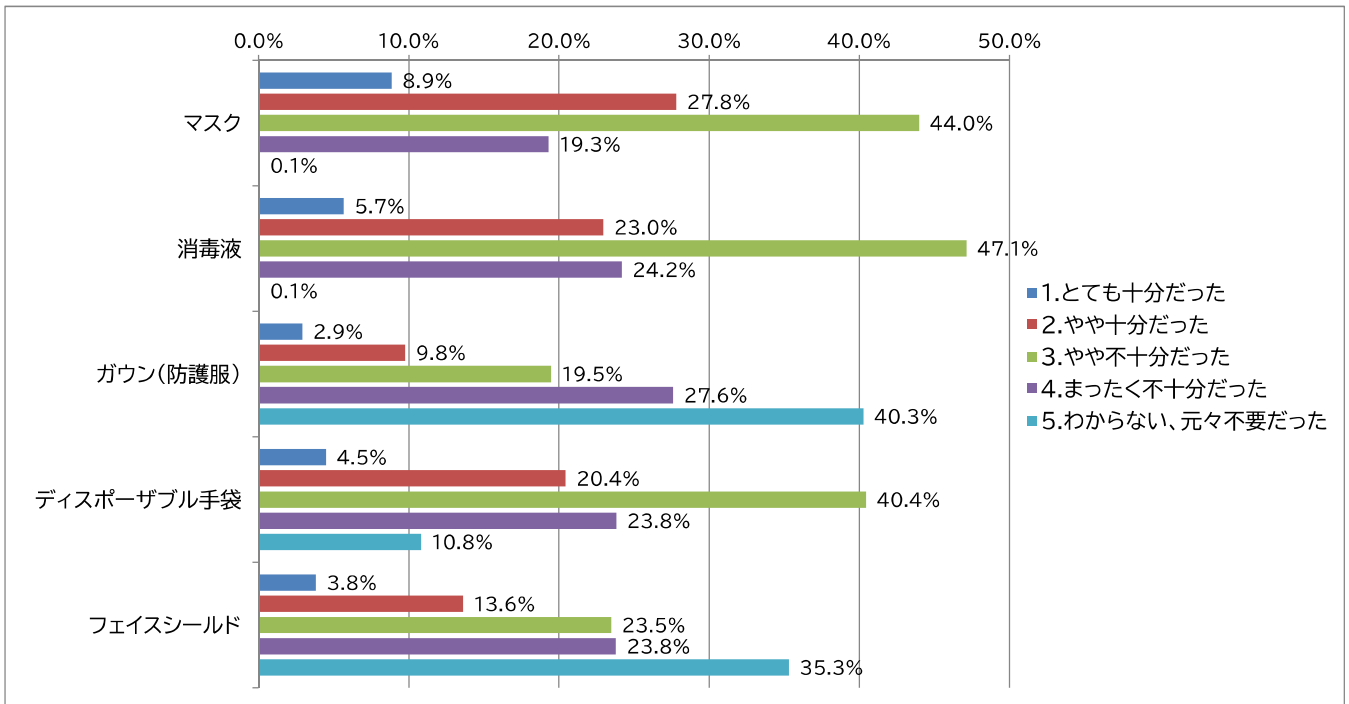
善意銀行への配分申込の頻度



善意銀行への配分申込を「あまり申込んだことがない」「まったく申込んだことがない」と回答した施設にその理由をたずねたところ、「希望する寄附・招待がないため」(45.3%)、「利用者の心身等の状況にあう寄附・招待がないため」(39.2%)の回答が多い。一方で「善意銀行を利用する方法がわからないため」(8.0%)、「善意銀行より寄附・招待の案内が届いていないため」(5.7%)との回答もみられる。

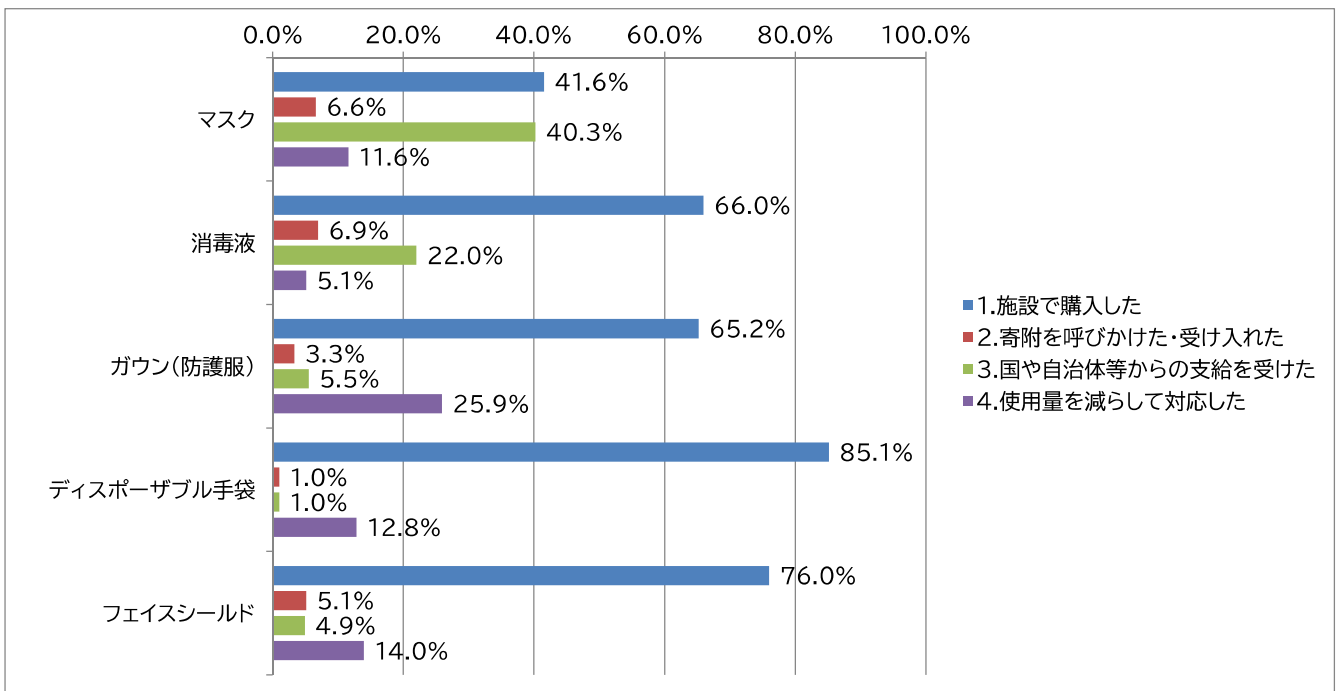
22

コロナ禍における衛生用品の確保状況



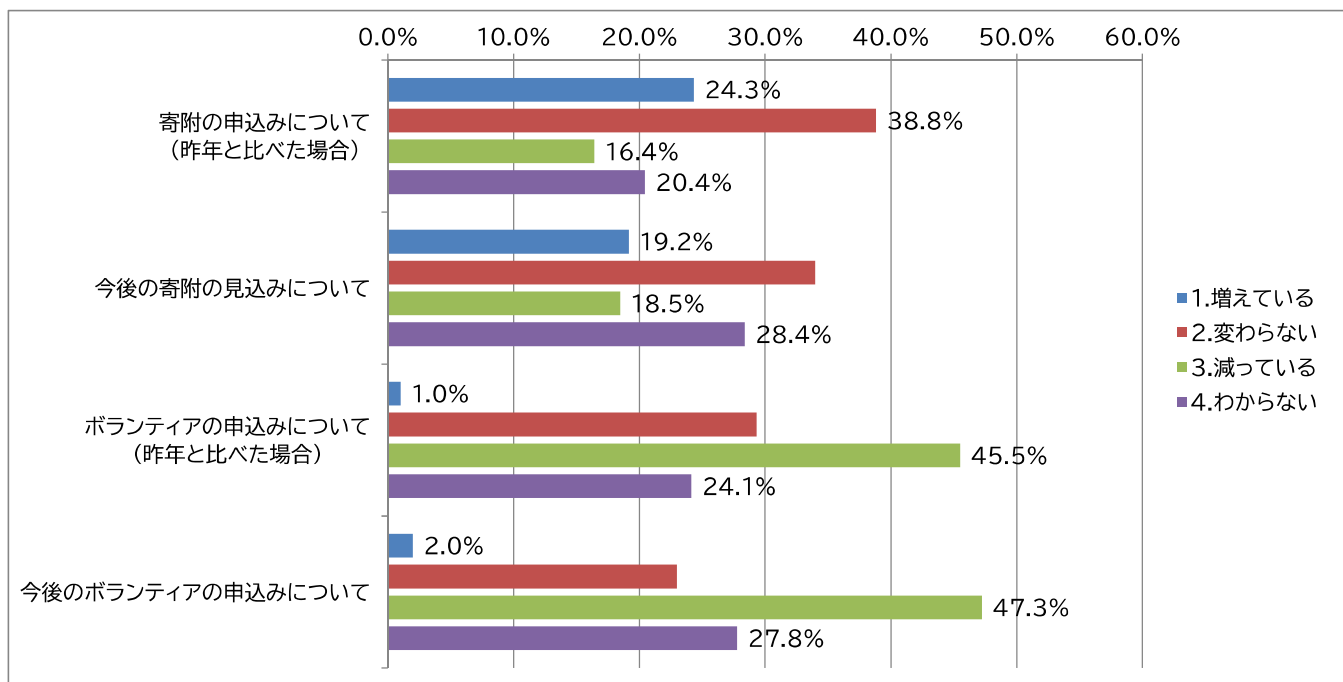
2020 年前半のコロナ禍における衛生用品の確保状況をたずねたところ、各用品とも「やや不十分だった」「まったく不十分だった」の回答が目立つ結果になった。特に「まったく不十分だった」の回答は、各用品とも 20% 程度の回答がみられた。

不足衛生用品の確保策



衛生用品が「やや不十分だった」「まったく不十分だった」と回答した施設に確保策をたずねたところ、多くの物品が「施設で購入した」の回答が目立つ結果になった。マスクや消毒液については、「国や自治体等からの支給を受けた」の回答も目立った。

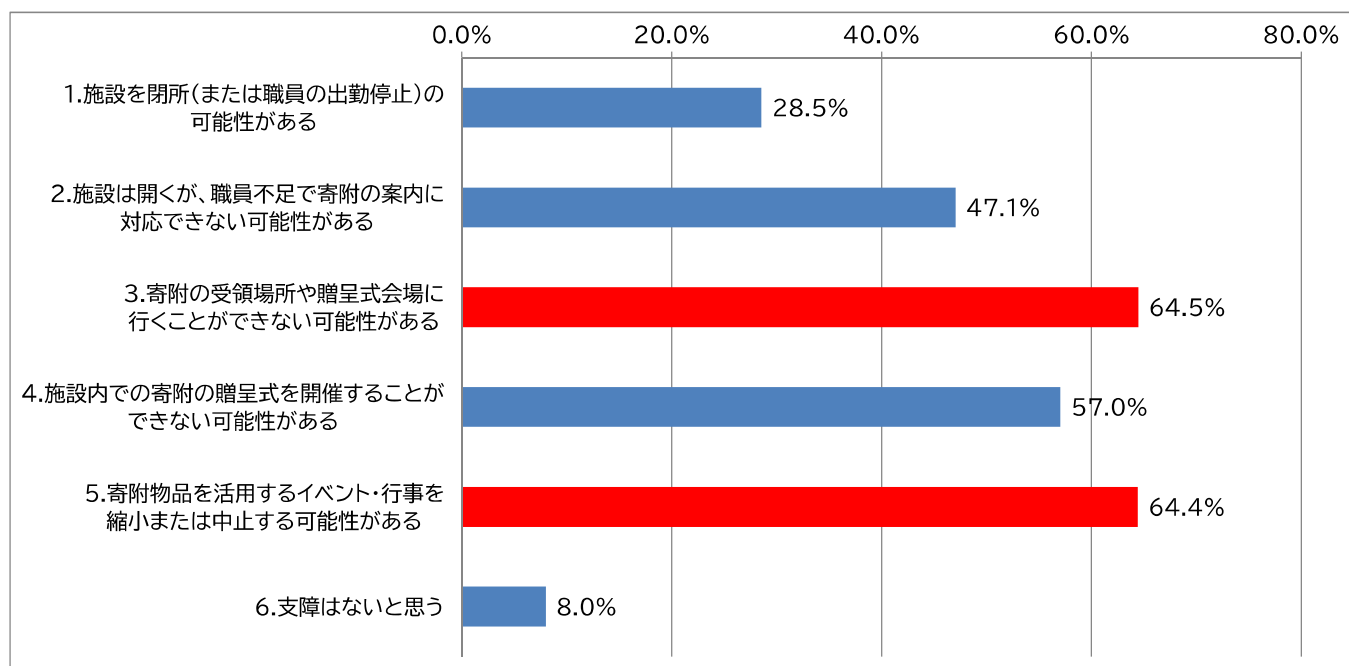
コロナ禍の影響（寄附およびボランティア募集）



寄附やボランティア募集におけるコロナ禍の影響についてたずねたところ、寄附については、現状ならびに今後のいずれも「変わらない(と思う)」との見込みを回答する施設が多い。一方、ボランティアの募集では、現状ならびに今後のいずれも「減っている(減と思う)」との回答が半数弱との結果になった。

25

コロナ禍で想定される寄附受入れへの影響



コロナ禍で想定される寄附受入れへの影響として想定されることをたずねたところ、「寄附の受領場所や贈呈式会場に行くことができない可能性はある」(64.5%)、「寄附物品を活用するイベント・行事を縮小または中止する可能性はある」(64.4%)への回答が目立つ結果になった。

26